

第 1 回教育・人づくり部会（令和 8 年 5 月 1 4 日） 委員発言要旨

議 事	テ ー マ	発 言 要 旨	発 言 者
政策指標の達成に向けて	政策に関する取組等について	教育行政各課がつながって、校種間の接続や連携にしっかりと取り組み、その結果が学校現場やこどもたちに確実に還元されていく仕組みづくりが重要である。	和田渉委員
		学校などのフォーマルな枠組みだけでなく、地域のお年寄りからの温かい声かけなど、地域コミュニティとのつながりといった視点も重要である。	高橋今日子委員
		こどもは身近な大人の背中を見て育つものであり、大人側の資質や環境も教育の重要な要素である。	高橋今日子委員
		コミュニティの中で価値を見出す人材を育成するため、フォーマル・インフォーマルな教育を複合的に捉え、文化や価値観に触れる機会をこどもたちに広く提供することが重要である。	寺野摩弓専門委員
	政策指標「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小 6 ・ 中 3）」について	「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」について、数値だけではなく夢の具体的内容や背景などの質的な部分も提示することで、県民に対し指標の意図や実態がより分かりやすくなると思う。	高橋今日子委員
		高校生は社会での自立が近づいているというプレッシャーの中で 3 年間を過ごしており、ウェルビーイングが低下してしまうのではないかと思う。	長谷川兼一委員
		県内定着を促すためにも、高校への接続段階でこどもの資質・能力を伸ばすためのテコ入れが重要である。	長谷川兼一委員
		政策指標の評価において、小 6 と 中 3 のデータだけではなく、幼少期や高校生も含めた幅広い対象を追いかけて、数字で見えない部分もきめ細かく把握していく必要がある。	和田渉委員
		キャリアや就職も重要だが、人生をどう生きるかという根本の教育や気づきも大切である。	長谷川兼一委員
		有名企業に就職するといった一時的な目標ではなく、その後の人生をどう歩むのか、自分の信念を持つこと、他者への思いやり、家族を大切にすることといった視点が重要である。早い段階からこうした気づきを促す教育を積み重ねることが、こどもが困難に直面した際、それを乗り越えていく力へとつながる。	長谷川兼一委員

議 事	テ ー マ	発 言 要 旨	発 言 者
	政策指標「認知したいじめの解消率（国公立・小・中・高・特別支援）」について	いじめについて、先生は解消したと判断していても、こどもたちの中ではまだ「しこり」が残っているケースも考えられる。本人が心から安心できていることをいかにして確認するかということは難しいと思う。	高橋今日子委員
		いじめの程度を深刻ではない状態にすることも重要である。	高橋今日子委員
		いじめ対応では教員に過度な負担がかからないように、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの役割分担が必要である。	高橋今日子委員
		いじめたこどもをすぐに別室に呼んで謝らせ、「もうやらないね」と確認して解消とするケースが見受けられるが、それがこどもの成長や安全確保にとっての最適解なのか疑問がある。	高橋今日子委員
		こどもたちに備わっている「いじめを解決する力」を引き出すため、教員には主体的な解決を促す指導力の向上が求められる。	高橋今日子委員
		いじめには家庭の問題が背景にあるなど、学校だけで解決できないことも多くある。解決に向けた「支援の輪」を広げることも教員の重要なスキルの一つだと考えている。	高橋今日子委員
		近年問題となっているSNSを介したいじめに関して、現場の教員がこどもたちとどのようにやり取りし、対応しているかについて、現状や感覚を正確に把握しておく必要がある。	寺野摩弓専門委員
		スクールカウンセラーを学校のスタッフの一員と捉え、状況に応じて教員と適切に情報共有を図る関係性を築くことが、問題解決には重要となる。	和田渉委員
		カウンセラーのスキルやネットワークを有効に活用することが、解決に向けて重要である。単に配置するだけではなく、カウンセラー自身の質を向上させていくといった視点が必要である。	高橋今日子委員
		いじめの解消率について、達成が困難であっても「大人がこどもを守り抜く」という強い決意と意気込みを示すため、目標値は妥協せず100%に設定することは良いと思う。	長谷川兼一委員
		スクールロイヤーの導入により、法的な視点を持った対応や学校側の防御体制を強化していくことは、様々な問題解決のために非常に重要である。	高橋今日子委員
		学校経由以外でもこどもや親が声を上げやすい環境の整備と、保護者等に対する適切な相談方法のガイダンスの周知が重要である。	寺野摩弓専門委員
		こどもが悩んだ時にすぐ相談できるよう、各種相談窓口の連絡先を記載したカードを配付するなど、相談体制の周知徹底を図ることが重要である。	和田渉委員